

英語を通じてひとの成長を助けたい。

カナダ人の英会話講師ゴメスさんは、メキシコの首都メキシコシティで生まれ13歳でカナダに家族と移住。日本に興味を持ったきっかけは、4歳の頃に習い始めて黒帯の腕前の空手の影響だそう。大学で日本文化を学びALTに応募。海の近くを希望して配属された場所が敦賀だった。

現在気比の松原近くのアパートに奥さんと子供の家族三人で住むゴメスさん。休日の楽しみは早朝誰もいない海に一人でカヤックを漕ぎだすこと。常宮神社や時には水島まで行くこともある。波の穏やかな敦賀湾に浮かび、大自然を独り占めする気分は最高だそう。

他にも自転車や山登りも趣味というゴメスさんは、近くに山も海もある敦賀の自然が大好き。



アイカー ゴメス ゴロズティエタ IKER GOMEZ GOROZIETA
カナダ・バンクーバー出身。2009年敦賀市立栗野中学校のALT(外国語指導助手)として敦賀で住み始める。パーティーで知り合った敦賀出身の日本人の奥さんと結婚。現在は駅前商店街で英会話スクールを運営している。



つるがふるさとサポーター募集中！

敦賀市では、敦賀を応援していただけるサポーターを募集しています！サポーターになっていただいた方には、敦賀きらめき温泉リラ・ポートの割引など様々な特典が受けられる認定証や、敦賀の魅力を詰め込んだミニマガジンをお送りしています。年齢、性別、出身地は問いません。



COUPON

このクーポンで「敦賀きらめき温泉リラ・ポート」が以下の料金で1回限りご本人とご家族でご利用できます。

期間終了しました。

敦賀きらめき温泉リラ・ポート 福井県敦賀市高野91-9-3 TEL.0770-24-1126

お問い合わせ
敦賀市 地方創生特任室 〒914-8501 福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL. 0770-22-8210 FAX. 0770-23-4129 E-mail. sousei@ton21.ne.jp

tsuruga small tags つるがふるさとミニマガジン

発行元／敦賀市 編集・制作／東雲デザイン

海と山に囲まれた、敦賀の自然が好き。

ソウル・東京と都会に暮らしてきたミギョンさんが、敦賀に来て驚いたのが自然が多いこと。すぐ近くに海と山があって、いろいろな自然に触れ合えるのが楽しい。松原や野坂山に中池見湿地、どこも素晴らしいが、特に好きなのが常宮神社。町中から少し離れた場所にあり、静かで落ち着いて過ごすことができる。境内には梅や桜などの木があり、四季折々の景色を楽しむこともできる。悩み事や考え事のある時には必ずここに来るそう。

日本文化も好きなので剣道や弓道などの武道にも興味があり、運動公園の弓道場へも時々行くことがある。

今まで住んだどの町よりも敦賀が好きで、このままここで生涯を終えたいとミギョンさんは思っている。



ジュ ミギョン JU MI KYUNG
飲食店で働くために韓国はソウルから東京にやってきたミギョンさんは、2000年に友人の店がある敦賀に移住。その後日本の永住権も取得して、現在は敦賀で自分の店を持ち暮らしている。

My Favorite Spot ワタシ・外国人-のお気に入りスポット

気比の松原

三保の松原、虹の松原と並ぶ日本三大松原のひとつ。夏は海水浴場としてにぎわい、遊歩道ではウォーキングを楽しめる市民の憩いの場。



常宮神社

安産の神様として有名。毎年7月には氣比神宮の祭神・仲哀天皇を納めた船神輿が海を渡り、神功皇后を祭る常宮神社へ会いに来るといふ神事が行われる。



野坂山

標高914mで、整備された登山道を片道約2時間ほどで山頂にたどり着くことができる。山頂からは敦賀市内を一望することができる。



良い環境で、家族を支えたい。

2週間に1度、ご主人の治療のために福井市の病院まで通院しているネルマさん、驚いたのは予約時間どおりに診察が行われ待ち時間もフィリピンに比べてとても短いこと。通院に利用する電車の発着時刻も正確で、日本ではすべてのサービスがお客さんの都合に合わせられていることに感心する。利用する敦賀駅もとても綺麗で清潔なのがお気に入りだ。

友人が訪ねてくると必ず連れて行くのが「人道の港敦賀ムゼウム」。何千人ものユダヤ人の命を救った「命のビザ」の話は、敦賀に住むものとしてとても誇りに思っている。神楽商店街にある国際交流嶺南センターでは日本語を教えてもらっていて、もっと新聞や本を読めるようになりたいと話してくれた。



足立ネルマ Adachi Nelma
フィリピン出身の日系3世。ご主人は農林水産省を定年退職後、フィリピンミンダナオ島ダバオ市に移住。現地で農政コンサルタントなどを行いながら、数々の著書を発刊する。2012年に難病になったご主人の治療のため、妹のいる敦賀に移住してきた。

中池見湿地

周りを山に囲まれた小さな湿地で、タニシやメダカ、バッタやカエルなどたくさんの生き物であふれ、トンボは70種以上が確認される日本屈指の生息地。



人道の港
敦賀ムゼウム

1920年にポーランド孤児、1940年には杉原千蔵が発給した「命のビザ」を持ったユダヤ人難民が、敦賀港に上陸したことに関連する資料が展示されている。



福井県国際交流
嶺南センター

国際交流・協力に関する情報を提供し、相談に応じてくれる。外国人に対しては各種生活相談にも応じてくれる。また、ボランティアスタッフが日本語も教えてくれる。



自由にのびのびと、子育て。

ハンガリー人の足つばマッサージ師マーンディさんが敦賀に来たのは、小学生になる息子さんの教育を考えてのこと。社会情勢が不安定で教育の質も高いとは言えないハンガリーより平和な日本で子育てしたいと思った。それまで奥さんの里帰りや4度来日経験があり、その時に感じた日本文化にも魅せられた。実際に息子さんが通う敦賀の小学校では、意外にも子供たちが自由にのびのびと勉強していることに驚いた。ブダペストの小学校では休み時間に体育館で遊んだり、縄跳びをしたり、運動会などの行事もないそう。

マーンディさんは小学校の見守り隊として、毎朝登校時に道路に立っている。皆がにこやかで「ハロー」と声を掛けてくれる、自分も笑顔になれる。



マーンディ シャーンドル Mandi Sandor
ハンガリーの首都ブダペストで足つばマッサージなどの技術を勉強しながら、DJ活動も行っていた。敦賀出身の奥さんと現地で出会い結婚後、子育ての環境を考えて敦賀に移住。現在自宅で足つばマッサージ院を開業中。月に一度、母国のFMラジオ局のDJも継続。

つるがのステキ、おしえてあげる。

tsuruga small tags

2016 vol.5 TAKE FREE

ワタシ・外国人-が敦賀に住む理由。



夕暮れの海の風景

周囲を山に囲まれた敦賀の海、夏は穏やかで水は透き通り、海岸沿いには日本海側有数の海水浴場が点在しています。代表的な気比の松原には、どこまでも白い砂浜と緑の松林が広がり、青い海と空との鮮やかなコントラストを生み出します。

砂浜沿いの松林には遊歩道が整備され、朝夕には多くの市民が散歩する憩いの場所になっています。

夏の海水浴、お盆のとうろう流しと花火大会、敦賀に暮らす人たちにとって海はいつも身近にあるもの。

夕暮れの海を眺めているだけで心が安らぐのです。

撮影／松原海岸

つるがのステキ、おしえてあげる。

tsuruga
small tags

